

事務事業評価シート

H28(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	教育委員会
	19149-1	特色ある学校づくり事業(中学校費)	室名	教育研究室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 一般会計
	基本施策	01:子どもたちの学びと健全育成	務	款 教育費
	施策の方向	01:信頼と活力あふれる学校づくり	科	項 中学校費
戦略プロジェクト		目	目 教育振興費	

② 目的・概要	対象	亀山市内各小学校
	目的	各校の豊かな教育資源を有効に活用し、保護者や地域住民等と学校が協働して、生徒一人ひとりに「生きる力」を育む特色ある教育活動、魅力ある教育実践を進め、学校教育の充実を図る。
概要	中学校の特色ある学校づくり事業の委託および各教育協議会における活動の支援	

			27年度	28年度
①	名称	特色ある活動の実施件数	計画値	
	補足	各校の特色を生かした活動を実施した件数	実績値	174
			単位	件
②	名称	保護者・地域への情報発信の回数	計画値	
	補足	保護者・地域へ学校の取り組みを情報発信した回数	実績値	27
			単位	回
③	名称		計画値	
	補足		実績値	
			単位	
④	名称		計画値	
	補足		実績値	
			単位	

年度計画				年度実績			
				亀山市内の全中学校(3校)が、特色ある学校づくり推進委員会を組織し、地域の特性、地域の人材を活かした教育活動に取り組んだ。			
④ 事業の計画・実績	事業費		計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ① 366
		事業費		740	703	一般職員人件費 ② 366	平均給与額 × ③
		国庫支出金				所要人員 ③ 0.05	
		県支出金				臨時職員人件費 ④	
		地方債				受益者負担額 ⑤	
		その他				受益者負担率	0.0% ⑤ / ⑥
		一般財源		740	703		
		再掲	翌年度への繰越額				
		前年度からの繰越額					
		総人件費		①	366		
	総コスト		⑥	1,069			

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	総合判定 A 順調に進んだ
	・学習活動や行事等に、さまざまな形で保護者や地域の方々が参画した学校では、生徒の活動意欲が高まり、地域への愛着を持たせることができた。同時に、保護者や地域の方々の学校教育への理解と関心が高まった。	
	・土曜授業日に外部講師やゲストティーチャーの講演等を実施した学校では、生徒が保護者・地域の参加者とともに学ぶ機会が増え、地域への情報発信の場とすることができた。また、体験活動などで挑戦の場を与えたことで、生徒たちが主体的・意欲的に活動する姿が増えた。	
・学力の定着を図るための取組を中心に進めた学校では、生徒の読書量が増え、授業理解度が上がるなどの成果が見られた。		
・委託業務を見直し、必要な経費を配分することができた。		
【反省点・課題】	・各学校の実態に応じた「生徒につけたい力」を設定し、保護者・地域と共有し、連携した取組を進めるため、学校からの情報発信をさらに行う。	
【改善の方向性】	・子どもたちが主体となった創意工夫ある教育活動を展開していくため、保護者地域に向けて積極的かつ効果的な情報発信を行うとともに、生徒たちの主体的な地域行事等への参画をめざす。	
事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 教育研究室長 徳田 浩一